

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年5月14日
【四半期会計期間】	第17期第1四半期（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）
【会社名】	ユナイトアンドグロウ株式会社
【英訳名】	Unite and Grow Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 須田 騎一郎
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田駿河台四丁目3番地
【電話番号】	03-5577-2091（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 岡 美恵子
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田駿河台四丁目3番地
【電話番号】	03-5577-2091（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 岡 美恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第1四半期 連結累計期間	第17期 第1四半期 連結累計期間	第16期
会計期間	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2021年1月1日 至 2021年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年12月31日
売上高 (千円)	412,359	488,243	1,732,506
経常利益 (千円)	63,321	70,652	216,868
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	41,386	49,550	159,271
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	41,386	49,550	159,271
純資産額 (千円)	1,070,231	1,223,422	1,189,780
総資産額 (千円)	1,515,093	1,719,334	1,770,727
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	11.40	13.57	43.79
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	10.52	12.56	40.40
自己資本比率 (%)	70.6	71.2	67.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第16期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化及び再拡大により、依然として厳しい状況が続いております。

一方、当社グループの主要事業であるインソーシング事業では、新型コロナウイルス感染症が長期化する状況下で定着しつつあるテレワークやリモート会議をはじめ業務全体に関連するIT化を推進し、顧客企業の事業基盤を支援することに注力してまいりました。また、セキュリティ事業においては、一部顧客の入れ替わりによる案件開始の遅れが生じたものの、当第1四半期連結累計期間における売上高及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高488,243千円（前年同四半期比18.4%増）、営業利益70,705千円（同11.5%増）、経常利益70,652千円（同11.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益49,550千円（同19.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

インソーシング事業

中堅・中小企業のコーポレートIT部門を対象とした人と知識をシェアする会員制の「シェアード社員サービス」を提供しております。

インソーシング事業では、今期ユニット数を8～10人からなる20ユニットへ増やし、情報共有やコミュニケーションが円滑となり、より機動的で意思決定を行いやすい体制といたしました。また、品質改善を目的とした実働会員へのヒアリング実施など顧客サポートの強化も図っております。

新規引合いも堅調に推移し、会員数は570社（前年同四半期比49社増）、そのうち実働会員数は206社（同15社増）となりました。また、シェアード社員数は前連結会計年度末に比べ異動等により1人減少し、153人（同21人増）となりましたが、シェアード社員の稼働1時間あたりの売上高は7,710円（同2.8%増）となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高448,811千円（前年同四半期比20.8%増）、セグメント利益170,875千円（同14.2%増）となりました。

セキュリティ事業

キャッシュレスペイメントに関するデータ保護対策のコンサルティングサービス及び教育研修サービスを提供しております。

コンサルティングサービスにおいては、大手企業から中堅・中小の成長企業へと顧客の入れ替わりによる案件の開始遅れが発生いたしましたが、ほぼ計画どおりの進捗となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高39,431千円（前年同四半期比3.1%減）、セグメント利益7,147千円（同18.9%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,719,334千円となり、前連結会計年度末に比べ51,393千円減少いたしました。

流動資産については、現金及び預金54,831千円及びその他流動資産2,243千円の減少、売掛金1,749千円の増加により、前連結会計年度末に比べ55,325千円減少し、1,542,761千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が92,403千円、無形固定資産が26,744千円、投資その他の資産が57,423千円となり、前連結会計年度末に比べ3,932千円増加し、176,572千円となりました。これは主に、ソフトウェア7,704千円の増加、建物928千円及び繰延税金資産2,294千円の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は495,911千円となり、前連結会計年度末に比べ85,034千円減少いたしました。

流動負債については、未払法人税等16,683千円、未払金77,990千円及びその他流動負債9,407千円の減少、前受金20,007千円の増加により、前連結会計年度末に比べ85,040千円減少し、474,618千円となりました。

固定負債については、資産除去債務7千円の増加により、前連結会計年度末に比べ5千円増加し、21,293千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,223,422千円となり、前連結会計年度末に比べ33,641千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益49,550千円の計上及び剰余金21,889千円の配当による利益剰余金27,661千円の増加、資本金2,990千円及び資本剰余金2,990千円の増加によるものであります。

(3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,600,000
計	11,600,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2021年3月31日)	提出日現在発行数 (株) (2021年5月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,677,000	3,677,000	東京証券取引所 (マザーズ)	権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式であ ります。 なお、単元株式数は 100株であります。
計	3,677,000	3,677,000		

(注)「提出日現在発行数」欄には、2021年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2021年1月1日～ 2021年3月31日 (注)	28,800	3,677,000	2,990	308,027	2,990	268,027

(注)新株予約権の行使による増加であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

2021年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,646,300	36,463	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 1,900	-	-
発行済株式総数	3,648,200	-	-
総株主の議決権	-	36,463	-

(注) 1. 当第1四半期会計期間末日現在の発行済株式については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2. 単元未満株式には、当社所有の自己株式26株が含まれております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,566,522	1,511,691
売掛金	13,598	15,347
その他	17,966	15,722
流動資産合計	1,598,087	1,542,761
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	74,520	73,591
その他(純額)	19,361	18,812
有形固定資産合計	93,881	92,403
無形固定資産		
ソフトウェア	19,040	26,744
その他	0	-
無形固定資産合計	19,040	26,744
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,889	6,595
その他	50,828	50,828
投資その他の資産合計	59,718	57,423
固定資産合計	172,640	176,572
資産合計	1,770,727	1,719,334

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,920	9,705
1年内返済予定の長期借入金	7,316	4,565
未払金	131,017	53,027
未払法人税等	42,718	26,034
前受金	303,426	323,433
その他	67,260	57,852
流動負債合計	559,659	474,618
固定負債		
資産除去債務	12,205	12,213
その他	9,081	9,079
固定負債合計	21,287	21,293
負債合計	580,946	495,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	305,037	308,027
資本剰余金	284,182	287,172
利益剰余金	600,616	628,277
自己株式	55	55
株主資本合計	1,189,780	1,223,422
純資産合計	1,189,780	1,223,422
負債純資産合計	1,770,727	1,719,334

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	412,359	488,243
売上原価	212,759	254,100
売上総利益	199,600	234,142
販売費及び一般管理費	136,206	163,436
営業利益	63,393	70,705
営業外収益		
受取利息	4	6
その他	0	12
営業外収益合計	4	18
営業外費用		
支払利息	75	51
株式交付費	-	19
その他	-	0
営業外費用合計	75	71
経常利益	63,321	70,652
税金等調整前四半期純利益	63,321	70,652
法人税、住民税及び事業税	17,816	18,808
法人税等調整額	4,118	2,294
法人税等合計	21,935	21,102
四半期純利益	41,386	49,550
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,386	49,550

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	41,386	49,550
四半期包括利益	41,386	49,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,386	49,550

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
減価償却費	4,029千円	5,837千円
のれんの償却額	1,107千円	- 千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	14,524	8	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年3月26日 定時株主総会	普通株式	21,889	6	2020年12月31日	2021年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	インソーシング 事業	セキュリティ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	371,665	40,694	412,359	-	412,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,975	-	9,975	9,975	-
計	381,641	40,694	422,335	9,975	412,359
セグメント利益	149,637	8,814	158,451	95,057	63,393

(注)1. セグメント利益の調整額 95,057千円には、セグメント間取引消去 9,975千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 85,081千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	インソーシング 事業	セキュリティ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	448,811	39,431	488,243	-	488,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,159	800	9,959	9,959	-
計	457,971	40,231	498,202	9,959	488,243
セグメント利益	170,875	7,147	178,023	107,317	70,705

(注)1. セグメント利益の調整額 107,317千円には、セグメント間取引消去 9,959千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 97,357千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額 (円)	11.40	13.57
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	41,386	49,550
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	41,386	49,550
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,631,000	3,652,334
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.52	12.56
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数 (株)	304,279	292,825
(うち新株予約権 (株))	(304,279)	(292,825)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年5月14日

ユナイテッドグロウ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 下条 修司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹 田 裕 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユナイテッドグロウ株式会社の2021年1月1日から2021年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ユナイテッドグロウ株式会社及び連結子会社の2021年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業的前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。